

岐阜県職員倫理憲章 恵那保健所実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に制定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり恵那保健所実行計画を定めます。

平成30年4月1日

記

1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

【取組事項】

- 地方公務員法が定める守秘義務や、情報公開制度、個人情報保護制度の趣旨等を職員に徹底し、情報の適正な管理、取扱いに努めます。
- 「岐阜県職員倫理規程」について全職員に徹底するとともに、職務上利害関係がある者との面談が必要な場合は、公の場において職員2人以上で対応することを原則とします。
- 職務執行に対する不法・不当要求には、職員個人や担当窓口任せきりにせず、所属全体で対応するとともに、関係部署との連携を密にし、協働して対処に当たります。
- 許認可事務においては、関連法令に照らして判断し、迅速な事務処理に努めます。
- 通勤途上や出張時などの勤務中はもちろん、勤務時間外においても交通法規を遵守し、無事故・無違反を徹底します。

2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げるよう努めます。
- ・前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

【取組事項】

- 予算化された事業でも「予算の残し方事例集」等を活用し、また経費節減可能な代替事業への切り替えを所管課と協議するなど徹底的な経費の縮減に努めます。
- 事務用品の在庫管理の徹底、再利用の促進や、両面・縮小コピーの積極的な活用など環境マネジメント（ISO14001）の着実な実践により、事務経費についても一層の縮減を図ります。
- 管理職員による組織のマネジメントを強化し、職員に時間管理の重要性を徹底するとともに、職員間における仕事量の均一化や事務の効率化の促進、「早く家庭に帰る日」・「ノー残業デー」の取組み等により、時間外勤務の縮減に努めます。
- 県庁等へのお出張時には、郵便物を持参することにより、郵便料金の削減に努めます。
- 毎週水曜日の勤務時間終了後、事務室の清掃を行います。

3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・ 専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の修得に努めます。
- ・ 法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧な業務を進めます。

【取組事項】

- 業務に関連する研修会等に積極的に参加し、専門的知識・能力の習得など、常に自己研鑽に努めます。
- 事業の執行に当たっては、根拠法令等を明らかにし、必要に応じて説明を加えるなど、説明責任の徹底に努めます。
- 新聞やインターネットなどから、国の動向や他県市の先進事例等について積極的に情報収集を行い、迅速かつ効果的な事業の執行に役立てます。
- 丁寧な行政サービスの提供を常に心がけ、思いやりのあるきめ細かな業務の遂行とともに、プライバシーに配慮し適切な対応に努めます。

4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・ マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・ どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

【取組事項】

- 食中毒や感染症等あらゆる不測の事態発生時にも迅速な情報伝達を図れるよう、各種危機管理対応マニュアルを参考にするとともに緊急連絡網を整備し、また情報伝達訓練を実施します。
- あらゆる情報に常に細心の注意を払い、いち早く不祥事等の危機を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。
- 情報セキュリティポリシーの遵守を徹底し、情報セキュリティ事故の発生を未然に防ぎます。

5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・ 正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・ 徹底した原因究明を行い、適切な再発防止策を講じます。

【取組事項】

- 問題発生時には、所属長の統一的な指揮のもと、速やかな情報収集・報告・分析や、応急対策（被害の拡大防止、2次災害の防止等）の実施等に当たります。
- 危機管理広報事案については、主管課・広報課等と連携を図りながら、「岐阜県危機管理広報マニュアル」に則って、透明・正確・迅速な情報発信に努めます。

6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・ 自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・ 不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

【取組事項】

- 所内会議や担当内の打合わせ、朝礼等を開催し、業務の進捗状況などについて情報共有を行うとともに、職員の「仕事と生活の共存」の実現に向けて意見交換を行います。
- 管理職員は、定期的な職員面談を実施し、職員の日頃の考えや悩み等の把握に努めるとともに、気軽に議論・意見具申できる雰囲気づくりに努めます。
- 良い情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。

7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・ 地域での活動に積極的に参加します。
- ・ 環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

【取組事項】

- 職員に対して、地域活動等（地元の消防団や自治会、ボランティア活動など）への参加を奨励するとともに、具体的な活動内容について、職員間で情報共有します。
- 時間外勤務の縮減や、年次休暇の計画的な取得の促進等により、地域活動等が行いやすい職場環境づくりに努めます。
- 環境にやさしい物品の購入や買い物時におけるマイバッグの持参等、地域においても、環境保全活動に率先垂範で取り組みます。

8 県民との対話を大切にし、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組みます。

- ・ 県政全般にわたる情報を分かりやすく、積極的に公開します。
- ・ 積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

【取組事項】

- 情報発信に当たっては、「保健所ホームページ」や「恵那の公衆衛生」を活用して業務の紹介に努めるとともに、お役所言葉、専門用語など、形式的で堅苦しい表現を避け、県民目線で、誰にでも分かりやすい、丁寧な表現に心掛けます。
- 「現場主義」と「対話重視」を基本理念に、「東濃東部医療ガヤガヤ会議」や各種説明会等の機会を通じて、県民の皆様の意見、提言を積極的に聴取し、事務事業の遂行に役立てます。
- 県民の皆様の苦情や相談については、職員が見落としている視点や、意識の多様性を気付かせてくれる貴重な情報であることから、真摯に耳を傾け、事業の見直しや勤務態度の改善等に役立てます。